

ごあいさつ 令和3年6月

町内でコロナウイルスの感染が広がるとともに道内全域で「緊急事態宣言」が発出されている状況の中、心落ち着かない日々が続いています。幸いにも、本園関係者の間では今のところ感染者が出ていませんが、いつだれが感染してもおかしくない状況であることを改めて感じています。

このような迷いや困難を感じる時にこそ、私たちの真価が問われるのではないかと思います。教育・保育、福祉の目的は何か。私たちは何のために仕事をするのか。そのようなことに思いを巡らせる時間が増えました。

そして、やはり、「子どものために」、「子ども第一主義」という信念をぶれずに持つことが大切であると思に至るのです。判断に迷ったときは、「子どものためになるのは何か」という基準で物事を判断する。その基準を持つことで「大人の都合」による間違った判断をしないで済むと信じています。

「子どものために」と考え、出した答えが、時に一般的な考えとは異なることがあるかもしれません。それでも、勇気をもって、その道を進まなければ、私たちの使命を果たすことなどできない。そう考えます。

ご家族のみなさまには、いつもご支援いただき、ありがたく思っています。みなさまのお力添えがあればこそ、このような時でも皆で助け合い、支えあいながら、「フレンドようちえん」と「子どもの森うらここ」を運営できます。これからも信念をしっかりと持ち、私たちの使命を果たしていきたいと思います。

理事長・園長 伊原 鎮(いはら やすし)